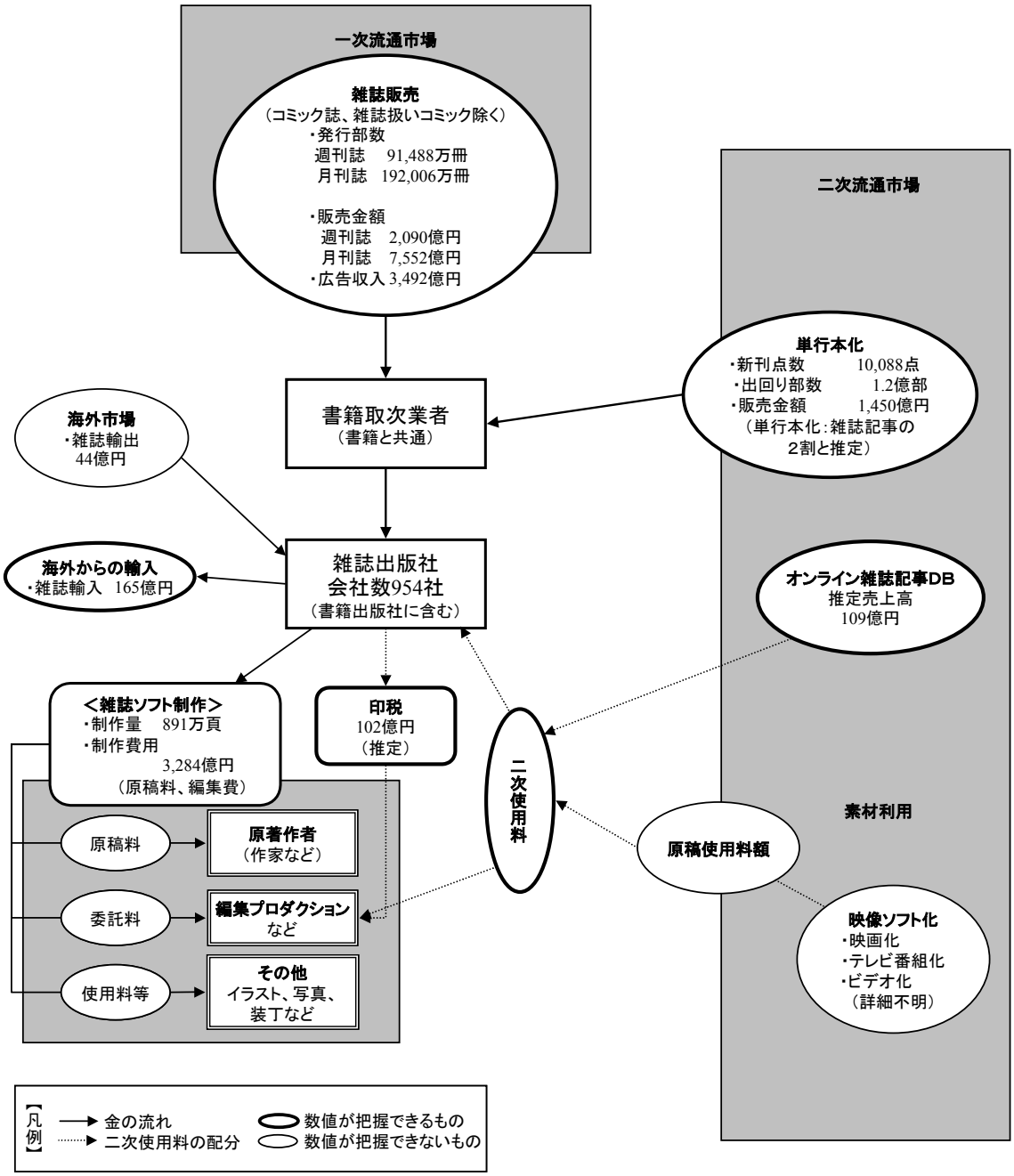
雑誌ソフト市場の構造と規模（平成12年）



雑誌ソフト市場規模、流通量数値算出の基準

基本的な考え方

○雑誌の形で、書籍取次業者を経て書店等で販売されるルートを、一次流通市場として捉える。この流通ルートは書籍流通と全く同じである。また、二次利用市場（単行本化）の流通ルートとも同一である。市場規模としては販売額と広告収入の合計を、ソフト流通量としては雑誌発行量を捉える。

○雑誌ソフトの二次利用市場としては、単行本化とオンラインデータベースによる提供が考えられる。単行本化されたものは、その書籍の販売部数、販売金額により捉える。オンラインデータベースについては、市場規模はデータベース利用金額、流通量はデータベースからの読み出し記事数により捉える。

○雑誌ソフトの素材利用としては、映像ソフト等の原作として二次使用されるケースが多い。その場合、原作者には契約により二次使用料が支払われる。二次使用料支払いの対象となった作品数及びその支払い金額を推定することとする。

○雑誌ソフトの制作者の報酬形態は、雑誌では原稿料、単行本化した場合は印税収入である。これらの合計に雑誌編集費用を加えたものを雑誌ソフト制作金額として捉える。ソフト制作量については、雑誌の延べ制作ページ数で捉える。

雑誌ソフト市場規模、流通量の算出方法

市場別		規模・量の考え方		算出方法・推定方法	典拠
一次流通市場	雑誌販売による流通	市場規模	年間に販売された雑誌（コミックを除く）の販売額	雑誌年間販売金額（コミック誌分除く）＋雑誌広告費（コミック誌分除く）	出版指標年報、電通広告年鑑
		流通量	年間に発行された雑誌（コミックを除く）の延べ部数（頁数）	雑誌年間発行部数（コミック誌分除く）×平均頁数	出版指標年報
二次利用市場	単行本化	市場規模	書籍販売金額のうち、雑誌記事を書籍化したものの金額（単行本化点数は連載記事量から推計）	書籍年間販売金額×（雑誌単行本化点数／書籍新刊点数）	同上
		流通量	書籍販売部数（延べ頁数）のうち、雑誌記事を書籍化したものの部数（延べ頁数）	書籍年間販売部数×（雑誌単行本化点数／書籍新刊点数）×平均頁数	同上
	オンラインデータベース（雑誌記事ファクトＤＢ分）	市場規模	雑誌記事ＤＢの利用料収入の合計	データベース市場規模×雑誌記事ＤＢ推定利用シェア（3.7%）	データベース白書 特定サービス産業調査
		流通量	雑誌記事ＤＢへのアクセスにより読み出された記事の延べ頁数	雑誌記事ＤＢ推定売上高／頁あたり記事読み出し平均単価	同上
素材利用市場	映像ソフト化（映画、テレビ番組、ビデオソフト）	市場規模	映像ソフト化に伴い原作者に支払われた二次使用料	（当面考えない）	
		流通量	映像ソフト化された作品数（又はその上映時間）	同上	
ソフト制作	雑誌記事の制作	制作金額	雑誌の制作・編集費用と単行本化分の印税額の合計	雑誌販売金額×制作・編集費用割合(25%)＋単行本化書籍販売金額×平均印税率(7%)	出版指標年報
		制作量	1 年間に発行された雑誌の記事原稿の述べ頁数	（雑誌発行点数－コミック誌発行点数）×平均頁数	同上

市場別		規模・量の考え方		算出方法・推定方法	典拠
ソフト輸出入	雑誌ソフトの輸出	市場規模	雑誌の輸出額	雑誌輸出額	出版指標年報
		流通量	（計量不可）		
	雑誌ソフトの輸入	市場規模	雑誌の輸入額	雑誌輸入額	出版指標年報
		流通量	（計量不可）		

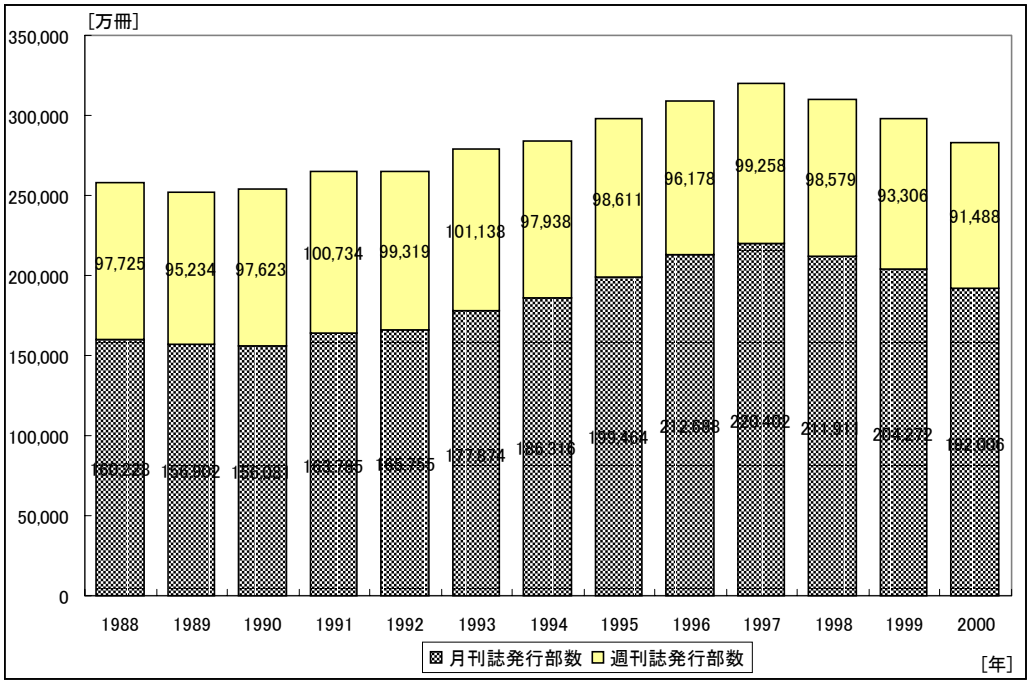
雑誌ソフト市場の動向

○一次流通市場の動向

・雑誌流通量は 1997 年をピークに 3 年連続で減少している。2000 年にはピーク時と比較して約 1 割の減少となった。週刊誌が 1990 年代を通じて約 10 億冊から 9 億冊程度で推移したのに対し、月刊誌の流通量は増減が大きい(図表 3-3-1)。

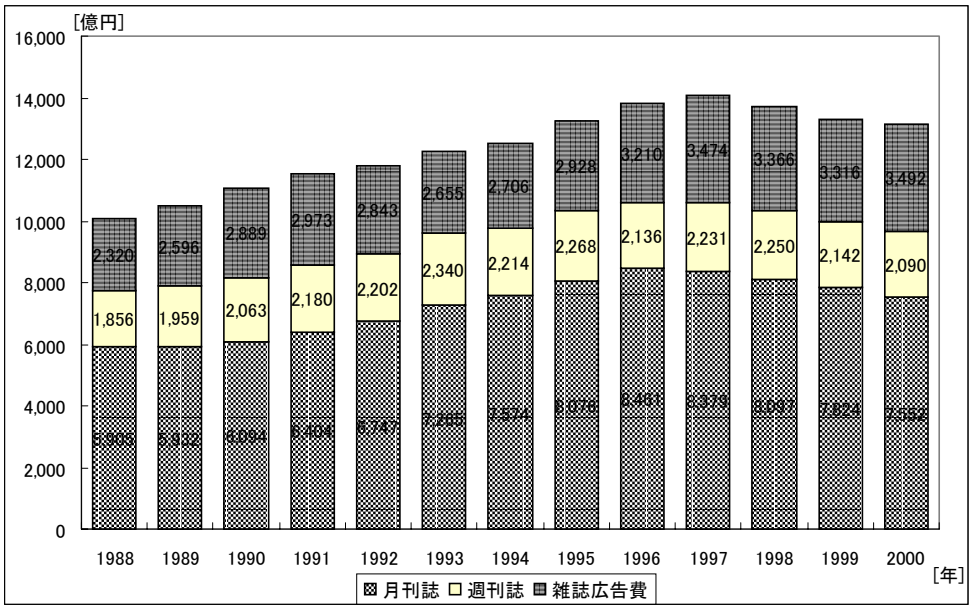
・雑誌の市場規模をみると 1990 年代半ばまでは増加傾向にあり、1997 年に 1 兆 4000 億円に達した。その後は、広告費は横這いであるものの、月刊誌、週刊誌とも減少に転じ 2000 年には 1 兆 3000 億円となっている。（図表 3-3-2）

図表3-3-1　雑誌発行部数の推移



出典：（社）全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」

図表3-3-2　雑誌売上金額の推移



出典：（社）全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」

○二次利用市場

・雑誌ソフトの制作量、及び、書籍の新刊点数が伸びている中、単行本化点数も1996 年の 9,583 点（推定値）から 2000 年には 10,088 点（推定値）に増加しているものと推定される。ただ、書籍全体の新刊点数が大きく伸びており、書籍全体に占める雑誌ソフトの単行本化の割合は低下している。

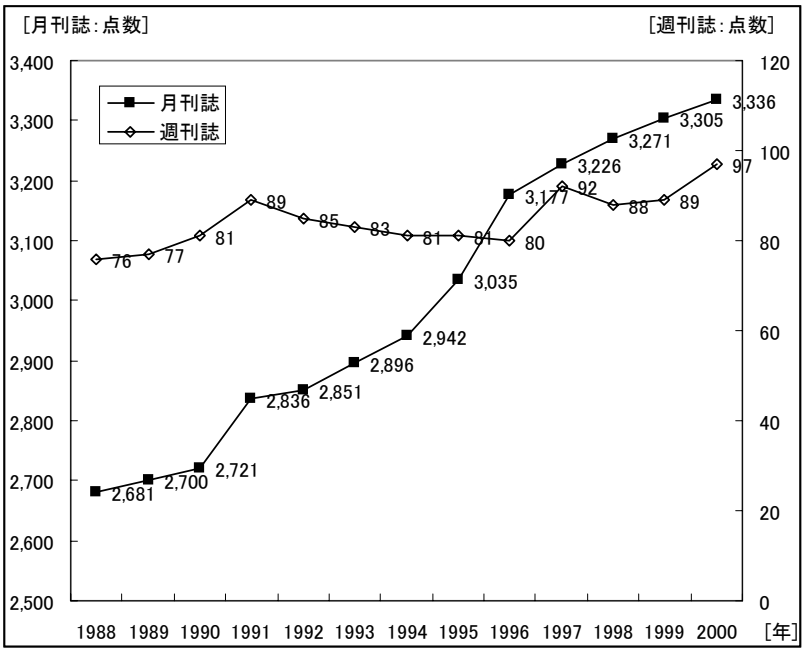
○ソフト制作の動向

・雑誌ソフトの発行銘柄数は増加傾向にある。月刊誌は 1990 年代を通じて増加しており、2000 年には 1990 年の 1.23 倍になっている。週刊誌は、1990 年代半ばまで減少していたが、90 年代後半からは増加に転じている（図表 3-3-3）。

○ソフトの輸出入の動向

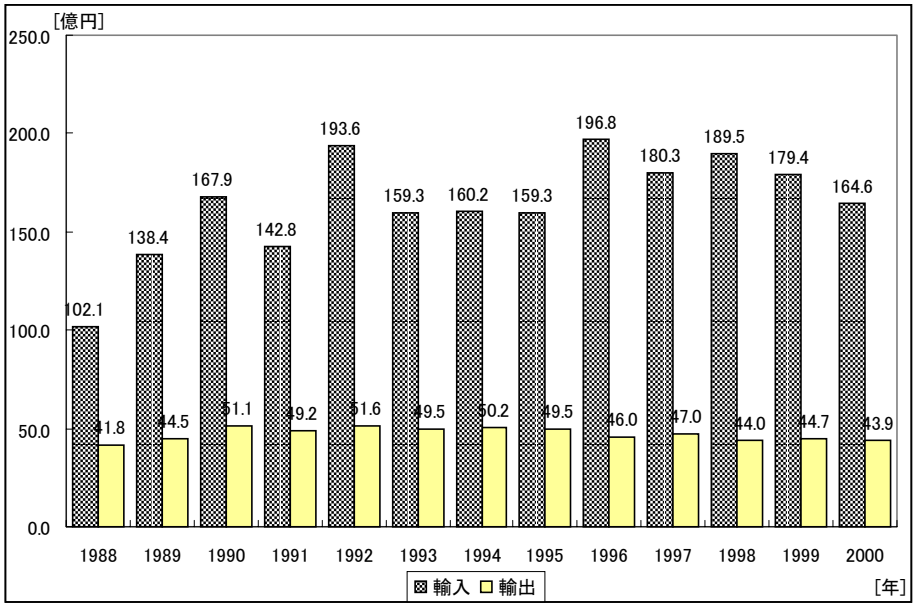
・雑誌の輸出入金額をみると大幅な輸入超過が続いている。輸出金額は、1990 年代を通じて減少傾向にある。一方、輸入金額は 1990 年代半ばまでは増加傾向にあったが、90 年代後半からは雑誌全体の需要低迷もあり減少に転じている（図表 3-3-4）。

図表3-3-3　雑誌発行銘柄数の推移



出典：（社）全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」

図表3-3-4　雑誌の輸出入金額の推移



出典：（社）全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」